

# あがの市議会だより

第66号

令和8年  
**3月**定例会号  
令和8年3月31日発行

## 主な内容

議案ピックアップ・議決結果	P2
常任委員会の活動報告	P3
市政を問う一般質問(11人)	P4-6
議会運営委員会の活動報告ほか	P7
次回定例会の予定ほか	P8



今年は例年より2週間ほど早い2月27日に白鳥の北帰行が完了しました(2月19日~24日に撮影)。

## 2月2日に臨時会が開かれました

## 3月定例会が2月25日~3月13日の会期で開かれました

### 2月25日 本会議

- 施政方針・一般行政報告
- 議案の提案説明
- 一般質問1日目(4人が質問)

### 2月26日 本会議

- 一般質問2日目(6人が質問)

### 3月4日 本会議

- 一般質問3日目(1人が質問)

### 3月5日、6日 各常任委員会

- 委員会に付託された議案等を審査

### 3月9~11日 予算審査特別委員会

- 令和8年度各会計予算を審査

### 3月13日 本会議

- 各委員会の審査報告の後、討論を経て採決 ※議決結果は2ページ

## 議案ピックアップ

議案を議決するまで、さまざまな視点から審議を重ねています。審議した中から令和8年度当初予算の内容をお知らせします。

## 令和8年度当初予算

一般会計予算は**234億8千万円**

「阿賀野市は挑戦を続けます あなたの未来と笑顔のために」人口減少対策、安全・安心、SDGs・ワンヘルスの3つの視点に基づき編成

## 企業会計・特別会計

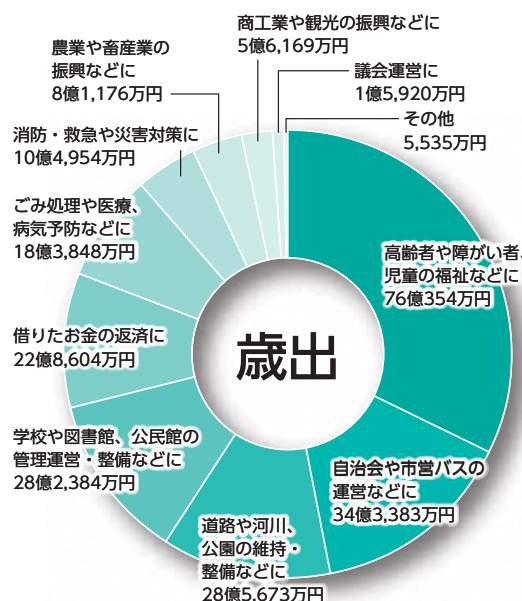
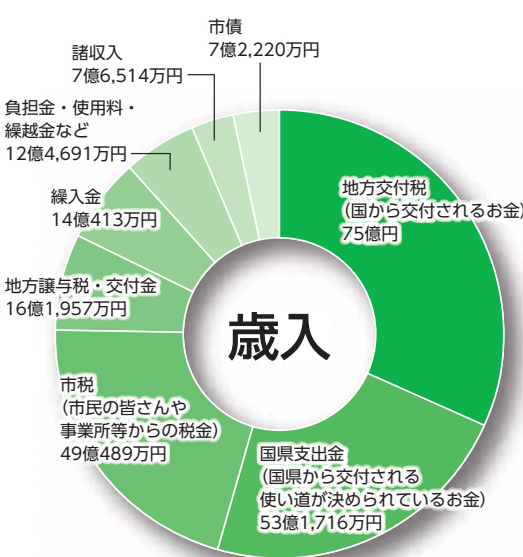
特定の事業を行う場合や、特定の収入を特定の支出に充て、一般会計とは区別して経理する必要がある場合に設置する会計です。

### ◆企業会計◆

水道事業会計	23億9,766万円
下水道事業会計	37億4,144万円
病院事業会計	9億1,895万円

### ◆特別会計◆

国民健康保険特別会計	41億2,374万円
後期高齢者医療特別会計	11億4,894万円
介護保険特別会計	53億7,028万円
押切外四ヶ大字財産区特別会計	513万円



## 令和8年度当初予算編成における3つの視点による特徴的な取り組み

### 人口減少対策の視点 持続可能で活力あるまちづくり

- ・小中学校の給食費の負担軽減を拡充します
- ・市内企業の魅力発信と採用力の向上を図り、就職者の増加につなげます
- ・新潟大学経済科学部と連携し、学生と行政による観光活性化戦略を進めます
- ・小学校プールを再編し、全天候型屋内プールを整備します

### 安全・安心の視点 災害に強いまちづくり

- ・あがの市民病院に新潟大学医学部と連携した4つの寄附講座を開設し、市民の健康を守ります
- ・救急搬送時の搬送先医療機関の早期決定により搬送時間を短縮し、市民の命を守ります
- ・老朽化した安田体育館の耐震化改修と機能向上を進め、より安全で快適な利用環境を整えます
- ・小中学生の通学路の外側線を整備し、児童生徒の安全な通学を守ります
- ・万が一の災害時における避難所での生活環境を向上させ、市民の命を守ります

### SDGs・ワンヘルスの視点

SDGs: 分野横断的な持続可能社会への取り組み  
ワンヘルス: 分野横断的な健康課題への取り組み

- ・生活区域に出発するクマへの速やかな対応と市街地に寄せ付けない環境づくりを進めます
- ・瓢湖水きん公園の環境整備を進め、水鳥をはじめとした生態系の維持と魅力アップにつなげます
- ・母子手帳アプリを活用したスマホ等への情報発信により子育て世帯をサポートします
- ・5歳児への健康診査を行い、子どもの特性に応じた適切な支援により健康保持と増進につなげます

# 議案ピックアップ

提案された議案について、さまざまな視点から審議を重ねます。  
2月2日の臨時会と3月定例会で審議した議案の中からお知らせします。

## 2月2日臨時会

### 一般会計補正予算(第9号)

先行きの見えない物価高騰により、大きな負担を強いられる市民生活と事業経営を引き続き守り抜くため、国による物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した独自の対策事業費を計上します。

#### 主な内容

- 生活応援商品券プレゼント事業費 2億2,295万円  
物価高の影響を受ける全ての市民を対象として、1人当たり5千円の商品券を配布する費用を計上。
- 水道事業会計繰出金 9,500万円  
市民や事業者を対象として水道基本料金を半年間無償とするため、水道事業会計におけるシステム改修費や料金減収相当額を計上。

- 農業用機械導入支援事業費 3,000万円  
物価高騰による生産費上昇の影響を受けている農業者に対して、生産費の一部を補助する費用を計上。

## 3月定例会

### 阿賀野市立学校施設使用条例の一部改正について

平日夜間における水原地区定期利用団体(武道等)の活動回数増加に対応できるよう、水原中学校の柔道場を新たに開放するため、所要の改正を実施。

### 阿賀野市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について

特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準(内閣府令第95号)が令和7年11月13日に交付されたことに伴い、本市においても阿賀野市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定めるため制定。

# 2月臨時会、3月定例会の議決結果をお知らせします

## 2月2日臨時会

議案名		審査した委員会※	議決結果	議案名		審査した委員会※	議決結果
処専決	令和7年度阿賀野市一般会計補正予算(第8号) 令和8年1月19日専決	省略	承認	予補正	令和7年度阿賀野市一般会計補正予算(第9号)	省略	可決
					令和7年度阿賀野市水道事業会計補正予算(第4号)	省略	可決

## 全会一致で議決した議案等

## 3月定例会

議案名		審査した委員会※	議決結果	議案名		審査した委員会※	議決結果
人事	阿賀野市教育委員会委員の任命について(渡邊 栄二氏)	省略	同意	条例	阿賀野市児童福祉審議会条例の廃止について	産厚	可決
補正予算	令和7年度阿賀野市一般会計補正予算(第10号)	省略	可決		阿賀野市子ども・子育て会議条例の一部改正について	産厚	可決
	令和7年度阿賀野市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	省略	可決		阿賀野市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	産厚	可決
	令和7年度阿賀野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)	省略	可決		阿賀野市介護保険条例の一部改正について	産厚	可決
	令和7年度阿賀野市介護保険特別会計補正予算(第4号)	省略	可決		阿賀野市火入れに関する条例の一部改正について	産厚	可決
	令和7年度阿賀野市水道事業会計補正予算(第5号)	省略	可決		阿賀野市準用河川流水占用料等徴収条例の一部改正について	産厚	可決
	令和7年度阿賀野市下水道事業会計補正予算(第3号)	省略	可決		阿賀野市病院事業の設置等に関する条例の一部改正について	産厚	可決
	令和7年度阿賀野市病院事業会計補正予算(第3号)	省略	可決		阿賀野市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について	総文	可決
当初予算	令和8年度阿賀野市後期高齢者医療特別会計予算	予算	可決		阿賀野市火災予防条例の一部改正について	総文	可決
	令和8年度阿賀野市介護保険特別会計予算	予算	可決		阿賀野市過疎地域持続的発展計画について	総文	可決
	令和8年度阿賀野市押切外四ヶ大字財産区特別会計予算	予算	可決	公の施設に係る指定管理者の指定について(阿賀野市農業総合管理センター)	産厚	可決	
条例	阿賀野市水道事業会計予算	予算	可決	公の施設に係る指定管理者の指定について(阿賀野市農産加工食品貯蔵庫)	産厚	可決	
	阿賀野市下水道事業会計予算	予算	可決	公の施設に係る指定管理者の指定について(阿賀野市笹神農研修所)	産厚	可決	
	阿賀野市病院事業会計予算	予算	可決	公の施設に係る指定管理者の指定について(阿賀野市笹神地区農産加工所)	産厚	可決	
	阿賀野市行政組織改編に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	総文	可決	公の施設に係る指定管理者の指定について(阿賀野市ゆうきセンター)	産厚	可決	
	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の一部改正について	総文	可決	公の施設に係る指定管理者の指定について(阿賀野市グリーンアクアセンター)	産厚	可決	
	阿賀野市体育施設条例の一部改正について	総文	可決	市道路線の変更について	産厚	可決	
	阿賀野市立学校施設使用条例の一部改正について	総文	可決	市道路線の廃止について	産厚	可決	
	阿賀野市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について	総文	可決				

※省略：本会議で即決したもの 総文：総務文教常任委員会 産厚：産業厚生常任委員会 予算：予算審査特別委員会 各委員会での審査結果は市ホームページでご覧になれます。

## 意見が分かれた議案等

## 3月定例会

○：賛成 ×：反対 議長(大滝勝)は採決には加わりません。

議案名	審査した委員会※	議決結果	公明党				日本共産党				新風あがの						会派の所属なし				
			村上 清彦	宮脇 雅夫	松崎 良繼	清水 博英	風間 輝榮	市川 英敏	天野美三男	遠藤 孝	荒澤 浩和	阿部 順三	披田野勝幸	菅原 道明	遠藤 智子	清野 栄一	天野 市榮				
令和8年度阿賀野市一般会計予算	予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
当初予算	討論(要旨)	反対意見	1月1日現在の本市の推計人口37,694人、10年後3万人割れになると思われるが、行政改革推進委員会が廃止検討とした安田体育館の大規模改修の設計料が計上された。改修費は10億円程度、耐用年数30年、子供の数が激減している中で主要体育館3館が必要なのか？次の世代に負の遺産は残せない。																		
		賛成意見	小中学校給食費の補助拡大による保護者負担の軽減などの子育て世代への支援、新潟大学との連携強化、救急搬送業務のICTシステムの導入、クマ対策事業など、子育て、生活、健康、観光、商工業、農業など全ての分野にバランスよく予算を配分している。																		
			○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
条例	討論(要旨)	反対意見	子育て費用を医療保険から支援金として徴収するのは目的外で納得できない。阿賀野市は今年度大幅な値上げをして、県下で2番目に高い1人当たり保険税になっており、今年度の剰余金は6千万円にもなると見込まれている。2年連続の引上げで賛成できない。																		
		賛成意見	そもそも子育て支援金を保険税から流用すること自体、疾病や高齢などの健康リスクに備えるという公的医療保険の目的から大きく逸脱している。医療と無関係の政策を保険税に上乗せし、制度をねじ曲げ、新たな負担を課すことは許されない。																		
請願		総文	採択	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
発議	討論(要旨)	反対意見	憲法第2条に規定される天皇制の「世襲」の解釈について、政府の見解や多数の学説では、男系・女系の両方が含まれるとされている。さらに、国民の世論は、女性の天皇を認めることに「賛成」と答えた人が69%に上っている。よって、男性にこだわるべきでない。																		
		賛成意見																			

# 常任委員会の活動

## 総務文教 常任委員会

総務部と民生部が所管する市政全般の企画・調整、財務、市税、防災、教育、生涯学習等に関する調査や議案・請願等の審査を行います。

1月14日に所管事務調査を行いました

### 部活動の地域展開について

#### 国の改革の理念

- ・将来にわたって生徒が継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会の確保・充実
- ・全ての生徒が希望にの応じて多種多様な活動に参加できる環境の整備
- ・学校の部活動が担ってきた教育的意義を継承・発展させつつ、地域全体で支えることによる新たな価値の創出

#### 国の取組方針

- ・令和13年度までに休日の原則全ての部活動における地域展開の実現と、平日の部活動の各種課題を解決しつつ、更なる改革の推進
- ・活動の質の担保等のため、地域クラブ活動の認定制度の構築

#### 阿賀野市の状況

令和7年度の部活動数は、運動部が25部、文化部が10部となっています。現在部活動への加入は任意となっており、部活動または地域クラブのいずれか1つに加入することも、両方に加入することも可能で、生徒が自由に選択することができま

#### 地域クラブの現状

地域クラブは10団体、加入者数は159人となっています。加入者は休日の活動のほか、4団体については平日の活動も

閉会中の継続調査事項（6月定例会まで）  
図書館の活用状況について

委員からは、

部活動顧問教員と指導者との話し合いについて  
保護者の負担額について  
部活動地域展開に関する指導者・教員・保護者へのアンケート結果について  
教員の負担軽減について  
活動中の事故などにおける責任の所在について  
活動場所の使用料の減免について

#### 阿賀野市の取り組み

阿賀野市としての取り組みは、指導者活用マニュアルを作成して活動中のけが・病気、災害時の対応や指導について周知し、生徒たちの安心安全を確保しています。また、地域クラブ指導員を児童生徒各種大会参加費補助金の支給対象とすることで、経済的負担の軽減に努めています。

#### 課題

部活動の地域展開を進める中で、活動場所や移動手段の確保、吹奏楽部の統合困難などさまざまな課題はありますが、転換期を迎えている部活動について、国の方針に基づき、試行錯誤しながら地域展開を進めていきたいと考えています。

#### 意見集約

国が進めている部活動の地域展開について、現状と今後の方針・課題等について、学校教育課から説明を受けました。  
中学校部活動の地域展開は、令和13年度までに全部活動を地域クラブに移行する方針としていますが、平日夜間の活動場所や活動場所までの移動手段の確保などの課題を抱えています。



## 産業厚生 常任委員会

民生部と産業建設部が所管する福祉、介護、子ども、保健、医療、環境、道路、河川、商工業、農業、観光、公園、上下水道等に関する調査や議案・請願等の審査を行います。

1月20日に所管事務調査を行いました

### 障がい福祉相談支援事業について

#### 阿賀野市では、障がいに関する業務を社会福祉課で担当しています。そのうち、相談支援係では、障がいのある人やその家族、障がい者・障がい児等を支える関係機関からの相談を受けたり支援したりする総合窓口として「障がい者基幹相談支援センター」の運営を担っています。

障がい者基幹相談支援センターについて  
障がい者基幹相談支援センターは、障害者総合支援法に基づき各市町村に設置が努力義務化されています。阿賀野市は平成29年度に市直営で市役所内に設置しました。県内で市直営での設置は6か所で、市役所職員のみでの配置は阿賀野市と佐渡市だけです。

障がい者基幹相談支援センターは、障害者総合支援法に基づき各市町村に設置が努力義務化されています。阿賀野市は平成29年度に市直営で市役所内に設置しました。県内で市直営での設置は6か所で、市役所職員のみでの配置は阿賀野市と佐渡市だけです。

#### 障がいの現状について

令和3年からの推移を見ると、身体障害者手帳所持者は減少していますが、療育手帳所持者や精神障害者保健福祉手帳所持者、自立支援医療（精神通院）受給者は増加しています。相談件数は年々増加しており、内容も福祉サービスについてや不安解消、健康・医療、就労についてなど多岐にわたります。総合相談窓口のため、本人や家族からだけでなく、事業所、福祉施設、医療機関、警察、消防、教育機関、法律関係、雇用就労関係等、幅広い関係機関からの相談を受けています。

福祉サービスについて  
福祉サービスには介護が主となる「介護給付」、訓練が主となる「訓練等給付」、市町村で実施を決める「地域生活支援事業」、装具等を支給する「補装具」の4つがあります。

自立支援協議会について  
自立支援協議会は、障害者自立支援法によって設置が定めら

れており、阿賀野市では平成25年度から設置しています。  
この協議会は4つの部会と3つの連絡会で構成されており、さまざまな課題を分析、調査、検証、協議し、市・県等に提言を行う流れになっています。

委員会意見  
総合支援事業の一環として、市町村が行う支援事業は注目されている。県内でもまだあまり取り組まれていない中、これだけのことをやっているのは非常に評価されるべきだと思う。今後とも担当だけでなく、各課、関係部署、関係機関等と連携して取り組んでほしい。

今回の説明の中で、移動手段や住宅、各種サービスについてさまざまな課題があることが分かった。国が決めたことだからその範囲の中でということではなく、その地域での課題に対して議会としても話し合っていく必要があると思う。市としても、支援をより充実させるために人員や予算の問題も含め、力を入れていってほしいと意見集約されました。

閉会中の継続調査事項（6月定例会まで）  
介護保険事業の状況について

障がい者基幹相談支援センターの役割について  
本人や家族、関係機関から障がい（児）者に関する福祉相談全般を聞き取り、本人が真に希望するものを見極めて、適切な支援の提案をする（サービスマン）とした場合は、相談支援専門員へつなぐ。  
関係者や関係機関へ情報提供・情報共有、支援のつなぎ（連携・調整）等。  
相談支援専門員など福祉職員





新風あがの  
風間 輝榮

### 新年度予算(案)について

質問 予算額を伺う。

答弁 4.5%増の234億8千万円の積極型予算。

質問 予算の特徴について伺う。

答弁 人口減少対策、安全・安心、SDGs・ワンヘルスの3つの視点を踏まえ、既存事業の効率化・省力化、将来を見据えた新たな投資を両輪として阿賀野市が前に進める予算編成にした。

質問 重点施策を伺う。

答弁 小学校給食費の完全無償化や中学校給食費を2分の1までに拡充補助、小学校屋内プールの設計、新潟大学医学部と連



新風あがの  
披田野勝幸

### 地域おこし協力隊の活動状況と任期満了後の定住支援策について

質問 令和8年1月末現在9人の協力隊員がおり、うち2人が新年度中に退任となるが、市に定住し活動する予定か。また、退任後の支援策は準備しているのかを伺う。

答弁 定住し起業・起業して活動を続ける。起業などへの補助制度や住宅支援を準備している。

質問 協力隊員が市役所職員採用試験に応募してもよいのかを伺う。

答弁 要件が合えば応募できる。

携した寄附講座の開設による診療体制の充実、安田体育館の改修設計、トイレカーの整備、5歳児健康診査の実施、生活区域に出没するクマ対策など。

### マイナンバーカードの変更に

質問 主な変更点を伺う。

答弁 マイナ保険証の利用、運転免許証・在留カードの一体化など。

質問 市民の所有人数について伺う。

答弁 令和8年1月31日現在、保有枚数は32,793枚で、5,589人が未所持。

平成28年1月に発行が開始されて以来、10年が経過し、最初のカード更新時期を迎えた人もおり、1月末までに申請のあった4,016件のうち9割弱が更新、新規や住所変更等による再

### 産地化指定園芸品目の継続的振興と支援策について

質問 旧町村時代、県の指定産地品目として「切り花菊」「チューリップ」「原木椎茸」おけさ柿」が多く、農家で生産されていたが、激減している。この4品目の継続的生産振興支援策の考えを伺う。

答弁 複合農業経営の振興策と併せ、農家の意見を聴きながらJAなど関係機関と検討する。

### 阿賀野市環境基本計画の実現に向けた取り組みについて

質問 市の環境基本計画では、公共施設での温室効果ガス削減のため設備の入れ替えや公用車のEV車化を進めているが、

発行は1割強。今後、国から詳細が示される現行カードの更新や、次期カードへの切り替えに係る交付体制の充実を図っていく。

### 福祉会館の延命について

質問 3年間延長と期限を付けているが、修繕費を最小限にとどめ、できる限り延命する方向で再検討すべきと考えるが、市長の考えを伺う。

答弁 施設の維持継続のため必要最小限の修繕を行った上、延長する3年間に利用者の代替施設への移行支援や避難体制の整備を行い、その状況を見極め、最終的な判断をしたいと考えている。



新風あがの  
遠藤 孝

### 今季の除雪業務と対応について

質問 市の今季における現時点での除雪回数(地区別)や経費、今後の見込み、例年との比較などについて。

答弁 2月13日現在の出勤回数は26回。地区別では、安田地区が19回、水原地区が10回、笹神地区が24回、京ヶ瀬地区が8回。市全体での一斉出勤は6回。現時点での除雪作業に係る経費は1億2,300万円となっている。

質問 市民から通勤時間までに除雪してほしいとの要望があるが、目標時間と状況はどうか。



無会派  
清野 栄一

### 県営産業団地における企業立地等について

質問 令和5年6月に公表された日揮触媒化成株の立地工程及び立地に伴う波及効果について伺う。

答弁 当初の建設計画より遅れている。当初の建設計画では、工場、倉庫などを10年程度で順次整備予定となっていた大規模な建設計画であり、市内建設業への受注機会の創出、建設に伴う資材調達、雇用、宿泊、飲食など、市内経済に良い波及効果が考えられるとともに、立地後は雇用創出、固定資産税等の税

収の増加などを見込んでいます。

### 福祉会館について

質問 2月2日、福祉会館の3年間継続の説明があったが、地域や利用者の多くは継続的な継続を望んでいる。改めて聞くが3年間継続の根拠は何か。特に水原地区は避難所収容数が大きく不足、旧国道から東側の貴重な避難所となっている。市民の生命・安全を守るためにも行政改革推進委員会の答申を尊重し福祉会館廃止(案)は撤回すべきと思うが如何か。

答弁 3年間の根拠は、福祉会館利用者の代替施設への移行や避難体制の整備に必要と見込まれる一定期間。また、人口減少などの影響で今後財政需要が一層ひっ迫してくる時期などを考え設定した。建物や設備の老朽化が進み、大規模な改修が

必要であるが、改修費用は高額であり、将来世代の負担も考慮すると、福祉会館を継続的に継続させることは難しいと考えている。

質問 福祉会館の耐用年数50年までは使用を継続し、その時点の状況で継続か廃止の判断はどうか。

答弁 3年以上は譲れない。

質問 財政需要のひっ迫とは、安田体育館改修費10億円、全天候型プール10億円か。

答弁 それだけではない、それ以外もある。

質問 阿賀野市には29か所の桜の名所があり、「桜めぐりパンフレット」が令和7年3月に発行されているが、市が管理する桜の維持管理、今後のPRと計画について。

質問 市の木である桜を、大切な観光資源の一つとして位置付け、市ホームページやSNS、観光関連イベント等を通じて誘客と周遊の促進に努めるとともに、桜まつりを実施して情報発信を行っている。維持管理では、支障枝の剪定等を計画的に行い、観光資源として地域のにぎわいの創出と市の魅力向上に取り組みしていく。





無党派  
遠藤 智子

安田インター入り口の看板について

**質問** 平成6年の磐越自動車道新潟ー安田間開通時、安田インターの入りに旧4か町村等の観光の目玉を掲載した看板が設置されたが、現在は経年劣化で表示が薄くなり、モニユメントも古くなって、市の魅力を伝える役割を果たすことができない状態となっている。阿賀野市の玄関口としてたくさんのお客さまを迎えるものとして、良い印象を与えるものではないと感じる。今後、この看板の取り扱いについての見解を伺う。

**答弁** この看板は、安田町、水



新風あがの  
阿部 順三

ごみ有料化の周知徹底について

**質問** 1月24日、ごみ有料化の説明会に参加した。丁寧な説明でよく理解できた。しかし、参加者が40人くらいで少なかつたことから、他の会場はどのような状況だったのか。説明会のPRの仕方を考慮すべきだと感じた。ごみ有料化・減量化は市民の理解と協力が必要である。ごみ有料化について、説明会に参加していた市民の反対意見はなかった。今後行政サービスの有料化、値上げなどはあると思うが、自治会長に協力を要請するなど、説明会に参加を促す方

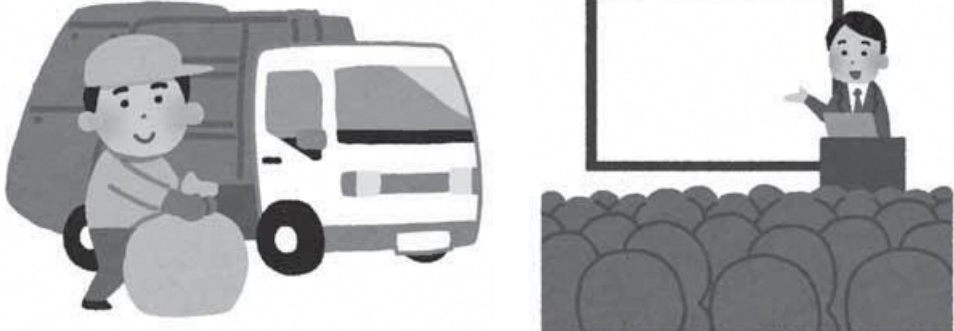
原町、笹神村、京ヶ瀬村、豊栄市、豊浦町の旧6か市町村で構成されていた豊南観光推進連絡協議会が、磐越自動車道安田インターチェンジの開通記念として建設した。設置後30年を経過したことで、近年、経年劣化による看板の色あせなどにより地域の魅力を伝える観光看板の役割を果たし得ない状況となっている。豊南観光推進連絡協議会が平成16年度に解散しており、解散後の当該看板の修繕・撤去に係る費用面の取り決めが確認できていないことから、今後、新発田市、新潟市北区の担当部局と協議、対応を検討したい。

**質問** 阿賀野市が誕生して20年余り。観光地の紹介や魅力発信のために、新しい観光看板へのチェンジが必要な時期に来ていると思われる。職員一同知恵を出し合い検討されることを望む。

**答弁** ごみ有料化の説明会参加者は、水原保健センターが42人、安田交流センターが9人、ふれあい会館が21人、京和荘が19人、4日の水原保健センターが13人の計104人であった。

ごみ有料化については、参加者から概ね必要性や市の考えに賛同をいただいた。説明会の参加を促す方法として「広報あがの」や市ホームページ、LINEで周知したが、参加者が少なかった。今後対面での説明会は「あがの市政出前講座」や自治会、団体単位で要望があれば出向いて説明する。

**答弁** 現在の安田インター内の設置場所は、看板が見えづらく、看板に記載する内容や整備費用など検討課題が多くあるため、多様な角度から検討していきたい。



新風あがの  
荒澤 浩和

京ヶ瀬中学校グラウンド整備の進捗について

**質問** 令和7年10月着工、令和8年8月竣工予定のスケジュールが、国交付金の決定遅れにより遅延している。新年度の学校行事や生徒への影響が懸念されるが、現在の進捗と今後の予定を問う。

**答弁** 国の補助事業採択が先送りとなり、計画を見直した。本年1月に交付決定がなされたため、3月定例会に補正予算を計上している。令和8年度中の竣工に向けて速やかに発注するが、



日本共産党  
宮脇 雅夫

ゴミ有料化でごみの量は減らせない

**質問** プラスチックごみ対策は、地球環境の将来がかかった大問題。プラスチックは、手軽で耐久性があり安価に製造できるので、広く使われてきたが、多くは「使い捨て」されており、きちんと処理されず環境中に流出し、海へ流出したプラスチックは生態系に深刻な影響を与えている。ペットボトルはリサイクルしても、ガラス瓶を繰り返し使うのとは比べ、エネルギー消費量や二酸化炭素排出量が約2倍となる。また、日本は1人当たりの使い捨てプラスチックの

授業や行事への影響を最小限に抑えるため、グラウンド工事は体育祭終了後の本年10月以降に着工し、附帯工事を先行して行う。

農業者支援(農業用機械導入支援事業)の継続について

**質問** 生産費高騰に苦しむ農業者への機械導入支援は、国の交付金を活用して実施された。市民からは市の独自事業として継続を望む声があるが、市長の考えを問う。

**答弁** 担い手への農地集積が進む中、農業用機械等に係る設備の更新や能力の向上は喫緊の課題である。令和8年度当初予算でも、ふるさと応援基金を活用した支援事業を計上している。今後も農業情勢を注視し、財源確保を含め継続を検討していく。

Aーオンデマンドバスの利便性向上について

**質問** 予約が埋まると後続の予約が取れず、通学や通院等で「今、利用したい」時に使えず、特に学生には負担が大きい。今後の対応を問う。

**答弁** 現在、事前予約が約9割を占め、当日予約が難しい状況は認識している。特に朝夕の通勤・通学時間帯の需要にこたえられていない。今後は実績を分析し、予約システムの改善やウェブ予約の普及を図るなど、より一層の対策を講じる。



廃棄量が、米国に次いで2番目に多い国。大量生産、大量消費、大量廃棄という経済・社会の在り方の転換により、プラスチックの生産量・使用量の根本的な削減が、ごみ問題の最大の課題だ。以下の点を伺う。

- ①市内の年間のペットボトル回収量はどのくらいか。
- ②生ごみは絞って出すだけでは不十分で、乾燥化、肥料化の推進を図ることが重要でないのか。
- ③フリーンセンターあがのがわの処理能力は122t/日(61t/日×2炉)となっているが、今年度の実績見込みは、過大な施設を建設したのではないのか。建設費は。
- ④ごみ有料化の市民負担の予定額は。物価高に市民が苦しんでいる中でごみ有料化はやめべきだ。

◆その他の質問◆  
外国人労働者問題について

kg。②その方向で推進したい。③68・5t/日を見込んでいる(処理能力比56%)。建設費は約177億円。④市民負担額はまだ決定していない。有料化している他市の状況では年間の施設運営費、ごみ運搬経費の1割程度のところが多い。本市の当該経費は5千万円程度である。





日本共産党  
松崎 良繼

### 食糧法改正と 水田政策について

**質問** 政府の水田政策の見直しについて見解を伺う。

**答弁** 畑にも対象を拡大するものと予想されているが、水田単作地域である本市は大規模な作物転換は大変難しい。すべての農業者の所得が向上する仕組みを期待している。

### 農機導入支援事業 について

**質問** 3千万円の予算枠はすぐにもいっぱいになると予想され、その場合早期に追加予算を組んでほしい。

**答弁** 事業目的達成のためには複数年にわたって取り組む必要があると考えている。

**質問** ポイント制は農家に新たな分断を持ち込む、農家を差別せずに支援すべきだ。

**答弁** 経営規模などの区別なく対象にする。限られた予算の中でポイント制によって意欲ある農業者を支援する仕組みをとった。

### 少子化対策について

**質問** 人口減少は、子どもを産み、育てることに希望の持てない社会にしまったことと、農林業の衰退が社会的流失を加速させたと言わねばならないが市長の見解は。

**答弁** おっしゃる通り、本市では総合計画で、地域の魅力を生かしながら持続可能で活力あるまちづくりを進めるとしている。

**質問** 教育負担軽減の一環として、中学校でも給食無償化を求める。

**答弁** 当面2分の1助成を継続し、無償化のための恒久財源確保について検討していく。

**質問** 子どもの減少により、運営が厳しくなる保育園、こども園への財政支援を強めるべきと考えるが。

**答弁** 国の基準の中で、各園の実情に沿った運営費になるよう支援をしていきたい。

### 住みリフォーム支援 制度の拡充を

**質問** 補助上限額15万円を、元の30万円に引き上げてほしいという事業者の要望があり、考えを伺う。

**答弁** 基本補助額上限を20万円に引き上げる改正を予定している。



日本共産党  
清水 博英

### 福祉会館の今後の 運営方針案について

**質問** 福祉会館は、利用者、市民の声を受け止め「必要最小限の整備をして、3年間存続・延命する」と示されたことについては一定評価するが、「3年後は原則廃止したい」としている。住民の福祉増進を目的とし、避難所ともなる公共施設の存廃は、慎重に検討されるべき。行政改革推進委員会の答申に沿って必要な修繕を行い、将来にわたって維持・存続すべき。

**答弁** 人口減少や税収減が見込まれる中、維持していくのは難しい。延長する3年間で必要な調整をしながら今後も議論を重ね、最終的な判断をしていく。

### 中学校給食の 無償化について

**質問** 小学校給食費は、国の施策として、来年度から無償化が始まる。給食費の無償化は子育て世帯の経済的負担軽減や少子化対策にも効果的といわれ、物価高騰を受け導入する自治体も増加傾向にある。中学校給食費の完全無償化を求める。

**答弁** 中学校給食費への支援は、当面2分の1助成を継続していきながら、無償化のための恒久的な財源確保を検討していく。



### トラブルが続く 柏崎刈羽原発 再稼働について

**質問** 東京電力は1月21日、柏崎刈羽原発6号機を再稼働させた。平成23年3月の福島第一原発事故後、再稼働をさせるのは初めて。テロ対策や制御棒不具合など原発の安全に関わるトラブルが絶えず、原発を運転する資格はないという声が上がっている。原発再稼働に対する市長の受け止めを伺う。

**答弁** 市民の安全安心の確保が大前提とした上で、国策としての責任がある国と事業主体である東京電力は、今一度、安全安心の確保を図るとともに、設備的・技術的な安全性向上、組織としての信頼回復に真摯に向き合っていたいただきたい。



無党派  
天野 市榮

### あがの市民病院での 寄附講座について

**質問** これまでの3つの講座（生活習慣病、消化器疾患、運動器疾患）に加え、令和8年度からは新たに循環器総合医療学講座が追加される。寄附講座の開設に当たって、市の要望や意向が反映されているのか。

**答弁** 市の要望や意向を踏まえ、あがの市民病院と協議した上で開設した。

**質問** あがの市民病院の診療機能拡充に向けてどのような形で貢献しているのか。

**答弁** 新病院が開院した平成27年度から始まった寄附講座の開

設に伴って常勤医師が順次配置（増員）され、令和7年度時点で常勤医師が5人配置されている。今後も新潟大学医学部と連携し常勤医師を確保しながら必要な医療を提供していく。

**質問** 寄附講座の経費はあがの市民病院を運営している県厚生連も半額を負担しているが、理由は。市は県厚生連と経費負担に係る協定を結んでいるのか。

**答弁** 理由はあがの市民病院の常勤医師確保につながっているから。協定は結んでいない。

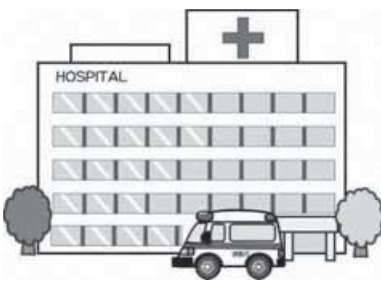
**質問** 柏崎市が寄附講座を開設したことに伴い、県厚生連が運営する柏崎総合医療センターの産婦人科に常勤医師が配置された。あがの市民病院の産婦人科には現在、常勤医師（嘱託医）1人が配置されているが、4月からは非常勤となり検診のみの対応となる。分娩が休止になっている現状に加え、更なる診療機

能の縮小となる。寄附講座を活用した産科医の確保を検討すべきではないか。

**答弁** 県内で産科医は不足している。柏崎市は医療圏（長岡市を含む中越医療圏）を考慮対応したものと理解している。本市を含む新潟医療圏とは事情が異なる。

### ◆その他の質問◆ 1 高齢者世帯の生活面における課題

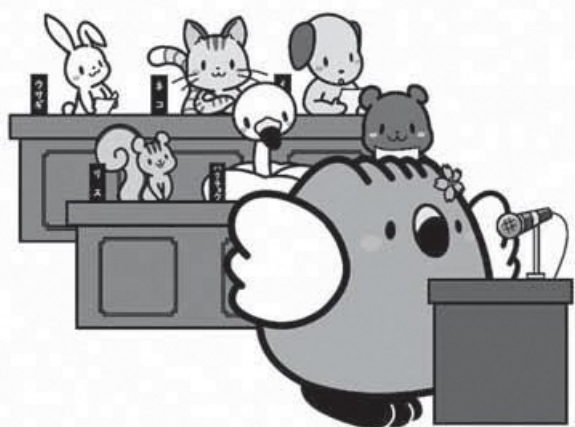
### 2 市内事業所における人材確保



○一般質問は1人当たり60分の持ち時間の中で、質問と答弁のやり取りが繰り返されます。議会だよりに掲載している内容は質問議員がまとめたもので、要旨を掲載しています。

○議員氏名左側の二次元コードをスマートフォンなどで読み取り、市ホームページの市議会映像配信のページを開くと、当該議員の定例会における一般質問のやり取りが視聴できます。

○一般質問の詳細については、会議録または市ホームページでご覧いただけます。3月定例会分は6月中旬に公開予定です。会議録は、市立図書館、各支所、市役所1階ロビーに用意してあります。



1月19日に所管事務調査を行いました

タブレット端末の運用について

Zoomアプリの基本的操作方法について、菅原副委員長から講習を受けました。Zoomアプリを利用することにより、離れた場所にいる人同士が会議を行う場合や災害時の連絡手段として有効であることから、日常的に利用してもらいたいとの話しがありました。

ペーパーレス会議システムを利用してから約1年になり、議案書や議案説明書、補正予算書等3種類以上の資料を同時に閲覧する場合、非常に資料が見づらいとの意見があり、もう少し見やすくしたい。例えば議案書と議案説明書を一緒に掲載するなど、改善要望を執行部に挙げていきたい(予算書と決算書は、当面紙で対応)。

議員間討議について

議員間討議は阿賀野市議会基本条例第11条に定めていますが、実際には議

案等の賛否を出すまでに十分な議論が

尽くされていないところが弱い部分であり、強化する必要があります。愛知県犬山市議会の例によると、議員全員協議会を定例会中の一般質問、議案の質疑の後に開催し、議員全体でそのテーマについて自由に討議する機会を設けています。議員個々の発言だけではなく、意見を共有し集約することで議会全体としての見解や提案につなげています。また、議員間討議を通じて問題点・改善点を整理し、市長や執行部に対して議会としての政策提言の申し入れを行う基盤づくりや、議会の活性化を目指して取り組んでいます。阿賀野市議会でも取り入れていきたい。

委員会意見

タブレット端末の運用では、Zoomの基本操作を確認し、災害時や感染症流行時の有効性が共有された

一方、安定した通信環境としてWi-Fi

利用の重要性が指摘されました。資料閲覧については、議案書や予算書を複数同時に確認しにくいとの意見があり、将来的には説明資料との一体化や見やすい書式への改善を執行部へ要望していく方向としました。また、一般質問答弁書については、紙での活用を望む声があり、原則ペーパーレスを基本としつつ、必要に応じ個別対応とする整理がなされました。

議員間討議については、阿賀野市議会基本条例の趣旨を踏まえ、単なる賛否表明にとどまらず、議論を深めて合意形成や政策提言につなげる必要性が共有されました。他市事例を参考に、議員全員協議会や常任委員会での討議を充実させ、議会全体の意見集約と執行部への提言力向上を図るべきとの認識で一致しました。今後、各会派で検討を進め、具体的な運用方法を協議していきます。

議会を傍聴しませんか

事前の申し込みは不要です。傍聴席入り口にある受付簿に住所・氏名を記入して傍聴してください。  
※現在、感染症予防のため、傍聴席の席数を減らしています。  
※体調がすぐれない人は、傍聴をご遠慮ください。  
※入室の際は、手指消毒にご協力をお願いします。

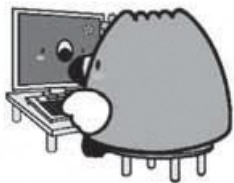


議会の情報は市ホームページをご覧ください

阿賀野市議会

検索

本会議議録や議員名簿、会議の日程、本会議の中継映像・録画映像がご覧いただけます。  
ぜひご利用ください。



阿賀野市イメージキャラクター「ござっちょ」

●中継はこちら

会議名、議員名、用語などから検索できます。  
視聴したいものを選んでクリック！



新潟県市議会議長会 春季定期総会

1月29日、ホテル清風苑(新発田市)で新潟県市議会議長会春季定期総会が開催され、大滝議長、荒澤副議長が出席しました。

当日は、県内市議会の正副議長が参加し、来賓の鈴木新潟県副知事から「成長戦略～お金(投資)と人を呼び込む～」と題した講話が行われました。

その後、開催市である新発田市議会議長の議事進行により、各市から提出された羽越本線高速化推進・白新線整備促進及び羽越新幹線整備促進について、日本海沿岸東北自動車道の整備促進についてなどの議案12件を審議し、原案のとおり全件が可決されました。

役員改選では、大滝議長が令和8年度全国市議会議長会地方財政委員会の委員に選任されました。



人口減少対策特別委員会を開催しました

2月16日、市役所で人口減少対策特別委員会を開催しました。県の人口減少問題対策推進県民会議への参加のほか、子育て支援センターにここを利用している保護者や健康推進課子ども家庭センターの保健師との意見交換を通して把握した阿賀野市の現状について議論しました。

人口減少対策特別委員会は2年間の期限付きで、今年は1年目となります。最終的な報告は来年以降の予定ですが、これまでの活動を中間報告として取りまとめ、阿賀野市の現状について議会に報告し、共有を図る予定です。



2月9日 子ども家庭センターの保健師との意見交換

## 次回6月定例会の予定

5月22日の議会運営委員会で正式に決定します。その後、市ホームページ・市公式LINEでお知らせします。

月 日	会 議 名
5月22日(金)	議会運営委員会 (定例会の運営方針決定)
6月 1日(月)	本会議(議案上程、一般質問)
6月 2日(火)	本会議(一般質問)
6月 3日(水)	本会議(一般質問)
6月 5日(金)	総務文教常任委員会
6月 8日(月)	産業厚生常任委員会
6月12日(金)	本会議(委員長報告、採決)

## 全国市議会議長会基地協議会 第89回総会

2月9日、都市センターホテル(東京都千代田区)で全国市議会議長会基地協議会第89回総会が開催され、大滝議長が出席しました。

当日は、令和6年度会計決算や令和8年度活動方針(案)、令和8年度事業計画(案)などについて審議し、全件可決されました。



## にいがた阿賀野産直市

1月20日・21日、JR大宮駅西口イベントスペースで阿賀野市の魅力発信のため「にいがた阿賀野産直市」が開催されました。議会から大滝議長、荒澤副議長、遠藤智子議員、阿部議員、清水議員、披田野議員が応援に駆け付けました。

「にいがた阿賀野産直市」では、阿賀野市の特産品・民芸品、地域おこし協力隊が中心となって開発したタコスソース、阿賀野高校生考案の阿賀野市産越後姫のプリン・ロールケーキなどの販売や、安田瓦の絵付け体験などが行われました。

2日間とも多くの人でにぎわい、過去最高の売上げを記録し、完売となった商品もありました。来場者からは「初日に購入した特産品がおいしかったので、2日目にも買いに来た」といううれしい声も聞かれました。



## 消防出初式

1月11日、出湯温泉街と笹岡・山崎地区で令和8年消防出初式が開催され、総務文教常任委員会委員が出席しました。

今年は初めて地域住民だけでなく、五頭温泉郷に宿泊している観光客からも、消防団による地域の生命や財産を守る活動を見てもらい、誰もが安心して訪れることができる地域づくりと観光啓発の一助となるよう計画されたものです。

時折雪が降る中での開催となりましたが、一斉放水や市中行進など日ごろの訓練が十分に生かされた出初式となりました。



## 関東経済産業局との 連携プロジェクト報告会

2月18日、水原保健センターで関東経済産業局との連携プロジェクト報告会が行われ、市議会から7人の議員が参加しました。

本市では令和7年9月から市内企業や市の課題解決に寄与することを目的に、関東経済産業局と連携した取り組みを行っています。

当日は、取り組み内容の報告や関東経済産業局職員と加藤市長とのトークセッションが行われ、本市の現状や課題解決に向けて活発な意見交換が行われました。



## 新潟ふるさとCM大賞でグランプリを獲得

県内の自治体がまちの魅力を伝えるCMを制作して競い合う「第6回新潟ふるさとCM大賞」で、阿賀野市の応募作品がグランプリ(第1位)を受賞しました。

市役所企画財政課の永澤友紀子デジタル化推進専門員が企画・監督・曲制作を手掛け、市役所の若手職員で編成した制作チームと共に、本市の特産品「安田瓦」をテーマに、安田瓦協同組合の全面協力の下、制作されました。

このCMは、グランプリの副賞としてUX新潟テレビ21で令和8年1月から8月までに100回放送される予定(放送日時は未定)で、市ホームページやYouTube阿賀野市公式チャンネルからも視聴することができます。



## ポッチャ交流会

2月23日、笹神体育館でポッチャ交流会が行われ、市議会議員有志による2チームも参加しました。

ポッチャは、年齢、障がいの有無にかかわらず楽しめるスポーツで、今回の交流会には34チームが参加しました。

世代や性別を超え、市民の皆さんとポッチャを通じて交流を図ることができました。



ポッチャ交流会に参加する議員有志チーム

発行：阿賀野市議会  
編集：広報広聴委員会  
〒959-2092  
阿賀野市岡山町10番15号  
TEL：0250-61-2489  
FAX：0250-61-2067  
E-mail：gikai@city.agano.niigata.jp

問い合わせは  
こちらから



次号は令和8年7月15日発行の  
予定です。

広報広聴委員会  
委員長 松崎良  
副委員長 清水博  
阿部順三  
天野市  
荒澤浩  
遠藤栄  
清野栄  
風間輝  
清水博  
松崎良  
清水博  
松崎良

編集委員 荒澤 浩和

今号では、物価高騰から市民の暮らしを守るための「令和7年度補正予算」の概要を特集しました。全市民への商品券配布や水道基本料金の免除など、生活に直結する支援策が決定しています。長らく厳しい社会情勢の中、少しでも皆さまの安心につながる情報をお届けできていれば幸いです。

今後、より分かりやすく、身近に感じていただける紙面づくりに努めてまいります。春の訪れと共に、皆さまの笑顔があふれますように。

## 編集後記

